

質問者
畠山剛一議員

防霜型カーブミラーの設置について

【問】 カーブミラーは通常道路の安全対策に結び付くものもあるため、今後は防霜対策のあるカーブミラーを新設してはどうか。

【答】 防霜型カーブミラーには4種類のタイプがあるが、それぞれ一長一短で価格的にも高価であり、設置する際の財政的な補助もないため、今しばらく現状を注視したい。

【問】 現在設置のカーブミラーについても、付け替えの際に凍結や曇りやすい所を調査し、防霜タイプに交換すべきと考えるがどうか。

【答】 市内には約4千基のカーブミラーがあり、膨大な時間と労力を要する点検を行うことは考えていない。また、昨年度のカーブミラーの設置は、

ゴミ出し困難者の対策について

【問】 自治会と連携を取り、高齢者等の「ゴミ出し困難者」を把握し、地域でサポートすることは出来ないのか。

【答】 生活支援が必要な高齢者等の把握については、各地域の民生委員の日常的な活動の中で把握していくだけであり、「ゴミ出し等については、訪問介護や高齢者生活支援ホームヘルプサービス事業などの公的サービスに加え、シルバー人材センターの福祉・家事援助サービスなど、高齢者の状況に合わせた支援がある。

【問】 また、平成23年度に地域支え合い体制づくり事業を実施し、平成24年度からは、社会福祉協議会が主体となり、小地域福祉活動推進事業として地域づくりの拡充に取り組

んでいる。むろん、中学校区)と開催している「地域ケア会議」において、「ゴミ出し等の生活支援や見守り支援など、地域の課題の把握と取り組み方策についても検討していく。

市内でも検討できないか。

【答】 本市では、福祉施策の各種事業により、「ゴミ出し、調理、洗濯などの生活支援と安否確認を行っており、このほかにも、地域の方々の温かい善意による支援も行われている。今後は、さらに地域での助け合いや支え合いをはじめ、様々な支援方策についても検討する。

【問】 65歳以上の高齢者や障害者に対する個別収集を行つ考えはないのか。

【答】 現在実施している福祉施策による支援を効率的に行つとともに、個別収集についても、福祉部

姫新線乗車促進を通じたまちづくりの課題とは

【問】 24年度から減便され10人が乗車され、駐車場の使用助成においては69人が利用されている。

【答】 170団体、2千800人に助成し、約5千人があなたが乗車され、駐車場の使用助成においては69人が利用されている。

【問】 乗車300万人をクリアすれば元の便数に戻る確約はあるか。

【答】 JR西日本からは、「利用状況に合わせたダイヤ編成を実施する」との回答で、前回の試行ダイヤ改正まで戻ることではない。

組みをした新宮幼稚園の兵庫県内で先駆的な取り組みについて

【問】 新宮幼稚園が実施されて10年が経過したが、未だ職員室が統一されていない。資格も保育士・幼稚園教諭をしており、早急に検討すべきと考えるが。

【答】 現段階で制度的には、幼稚園・保育所として別々の省庁の管轄であり、完全なる一体運用が難しい。平成27年度から新制度で運営される認定子ども園では内閣府に一本化され、現存の機能に加え、地域子育て支援拠点機能を持ち合わせ、容易に行える。

市営脇崎住宅の自動車増加に伴う駐車場の拡幅について

【問】 1世帯が保有する台数が増加する中、不法な駐車で事故が起きかねない。元船渡住宅跡地を整備し、貸し出しが出来ないか。

【答】 1世帯に複数台を所有する時代は事実であるが、入居時に1戸に1台の契約を結んでおり、他の市営住宅との公平性を保つことからも、整備する予定はない。

えていると聞くが、検討しないのか。

【答】 夏の県知事選挙、同日の参議院選挙をはじめ来年にかけて、多くの選挙が予定されている。機約700万円の経費と開票時間の短縮・時間外勤務手当の削減との費用対効果を考えると、人口規模でのメリットがないと考える。

質問者
横田 勉議員

投票用紙自動読み取り機導入について

【問】 若者が結婚を契機として新宮を離れる傾向がある。要因は市街化区域の不足による地価の高止まりがあると思うが。

【答】 兵庫県内において機械導入率は85%である。本市は高額のため、導入を控

